



碧南の図書館友の会編集
碧南市鶴見町1-70-1
電話 0566(41)0894
No. 132 2020年5月
編集責任者 杉浦卓郎



ごあいさつ

コロナによる難産な船出

第14代碧南の図書館友の会 会長

杉浦卓郎

会員の皆様には昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、4月の定期総会を中止して、書面にて議決及び承認などを報告させて頂きました。急遽の中止決定で大変ご迷惑をお掛けいたしました。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

この度、図書館友の会の会長となりました。日頃は、図書館友の会の諸事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

思えば、私は平成25年度から伝統ある「キリーク」に入会して、友の会の世話人を4年、副会長を2年経験して今日に至っています。

「春過ぎて 夏来にけらし 白妙の 衣ほすてふ 天の香久山」

この歌は会員の皆様良くご存じの持統天皇の歌です。私は小倉百人一首の中で一番好きな歌です。ちょうど今頃の歌だと思います。歌の意味は、図書館で調べたら、

「春が過ぎて夏が来たらしい 夏になると白い衣をほすという 天の香久山に、まっ白い着物がほしてあるよ」という内容です。

私には文学的才能はありませんが、中学生から高校にかけて、この小倉百人一首のカルタ取りが大好きでよくやっているうちに、この歌が一番好きになりました。



持統天皇は、あの天智天皇の皇女であり第41代天皇になっています。天の香久山は、大和三山の一つであり、明日香村の里にある「甘櫛の丘」からながめる風景が私は大好きです。

尚、本年度の予定として毎年7月に開催予定の「音楽と朗読の夕べ」は秋以降11月頃に計画します。

今後は、碧南の図書館友の会世話人会の交流の輪を広げ、皆様方の温かいご支援とご協力を頂き、一生懸命がんばりますのでよろしくお願い致します。

2年間の友の会の会長職を終えて

広田吉一

季節となれば花木も草木も花ひらき華やかになります。わが庭も木香薔薇がいま満開となっています。昨日は大きくなった黄梅の剪定をしました。新型コロナウイルスで先の見えない、今日この頃、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

碧南の図書館友の会での色々の行事にご協力して頂き誠にありがとうございました、御礼申し上げます。

私の半生を振り返ると、華道池坊東海支部の青年部部长、碧南文化協会の常任理事、そして友の会会長の役を務めました。2年前も書きましたが、図書館での杉浦かや様との出会いが始まりです。小島仁先生は45世池坊専永宗匠、詩人であり前の碧南市市長の永島卓様と同年の生まれで私より11歳違いです。いまは兵藤弄花軒から小島仁先生に至るこの地の華道について何か文章にして残せないかと思うこのごろであります。

西三河アララギ通信の杉浦民一先生には短歌を学びました。短歌誌「青南」に毎月投稿しています。現在は碧南短歌会と万葉集を読む会の世話人を勤めています。これからも友の会の会員として協力していきたいと思えます。

図書館友の会の活動1年を振り返って

杉浦宏真

平成31年4月より文化創造課長兼市民図書館長として市民図書館にお世話になっております。図書館友の会の皆様には昨年度は大変お世話になり、ありがとうございました。

昨年1年間を振り返りますと、4月に図書館友の会の総会に初めて参加させて頂き、代表の方より活動を伺う中で、約半世紀にわたるあゆみについて伺い、あらためて友の会の歴史を感じるとともに、図書館は友の会の皆さんに支えられていることを実感しました。

また、7月の友の会主催の恒例行事であります26回目の「音楽と朗読の夕べ」では、2階の子どもフロアのホールにたくさんのお子さん連れのお客さんが集まり、「夢クラブ」と「かぎぐるま」の皆さんによるお話し会やバイオリン演奏を楽しんで頂きました。両グループともに30年以上活動され、子供の読書活動推進に関する文部科学大臣表彰を受賞された素晴らしいグループで本当に頭の下がる思いであります。

同じく恒例行事の2月の「リサイクル本バザー」につきましては、リサイクル本が提供者数も冊数も例年の倍集まったと伺いました。前日の準備で朝早くからたくさんの方にお集まり頂き、一緒に本を並べさせて頂きました。本の詰まった段ボール箱がとても重く、重労働であったことを覚えていますので、無理をせず、おケガの無いように続けて頂ければと思います。今後も子ども達をはじめ、あらゆる世代のより多くの市民の方々に愛され利用される図書館となるよう取り組んで参りますので、引き続きご理解とご協力をよろしく願いいたします。

図書館（本館・分館）等で活動している読書グループ紹介 令和2年4月現在

名 称	定例会	活動場所	活 動 内 容
キリーク会	毎月第2（水） 13：30～15：30	文化会館	仏教史並びに仏教建築史について学習し、情操豊かな人間性を養う。
碧南万葉集を読む会	毎月第4（日） 13：00～16：30	本館	『万葉集私注』（土屋文明/著）を読み、万葉時代の人々の心を探り、我々との相違や共通点を話し合い、情操豊かな人間関係を育む。
碧南古文書を読む会	毎月第1・3 （日） 13.60～16：00	本館	古文書を読むことによって、郷土の歴史を学ぶ。また資料館や史跡の見学をして見識を深める。
輪の会	毎月第3（木） 10：30～12：00	本館	読書を通じて社会人としての知識、教養を深めるとともに、会員相互の親睦を図る。
かざぐるま	毎月第1（水） 13：00～15：00	本館	朗読の勉強を通して日本語の美しさと話すことの意味を考える。また読み聞かせによって子どもたちに本の楽しさを伝える。
夢クラブ	毎月第2（土） 10：00～12：00	本館	絵本等の読み聞かせや人形劇・影絵劇などを製作・上演し、子どもたちに良書と出会い親しむ機会を作り、感性を養う手助けを図る。
碧南現代短歌会	毎月第4（土） 13：30～15：30	本館	短歌について学び、短歌を通して会員相互の親睦を図る。
ひびき	毎月第3（火） 10：00～12：00	本館	普通の出版物のままでは利用できない人々に対して、よりよい音声訳サービスを提供する。
えほんの森	不定 10：00～12：00	南部分館	子どもの本を学び、パネルシアターの製作・上演を通して子どもとふれあい、自己の向上を図る。
手作り絵本 碧い鳥	毎月第2（日） 10：00～12：00	中部分館	世界にたった1つの絵本を手作りする。
碧南郷土史を学ぶ会	毎月第2（日） 13：3～15：30	本館	碧南の郷土の歴史を学び、その成果等を次世代に伝える。
碧南三浦綾子を読む会	毎月第2（土） 14：00～15：30	本館	三浦綾子文学を読み深め、仲間とともに学びあう。

参加希望の方へ 各グループへのお問い合わせは碧南市民図書館へお尋ねください。
本館（0566）41-0894 南部分館（0566）42-8211 中部分館（0566）41-198

碧南市民図書館より

【ご存知ですか？ 図書館サービス】

前回の航海日誌で少しご紹介しましたが、図書館システムの更新により、新しく利用できるようになったサービスがいくつかあります。

そのなかから、今回は「延長貸出」についてご紹介します。

借りている資料をもう1度続けて借りたいとき、いままでは図書館に来ていただいていたが、今後は図書館のホームページからご自分で手続きすることができます。

《手続き方法》

- ① ホームページのメニューから「マイページ」「利用状況確認」を選び、ログインする
- ② 貸出状況の一覧から、もう1度借りたい資料の下にある「延長する」ボタンを押す

これで貸出の延長手続きは完了です。

ただし、以下の場合はこの延長することができません。

- ① 予約が続いている
- ② 2回目の延長（延長できるのは1回のみ）
- ③ 返却予定日を過ぎている

また、ログインするにはパスワードが必要になります。

まだ登録されていない方は、図書館で申請をお願いいたします。その際は「利用者カード交付・再交付申請書」をご記入の上、本人確認ができる免許証や保険証等をご持参ください。



令和2年度「友の会」会員募集

会費 一人年額500円（令和3年3月31日まで）

運営 会で選出された世話人が相談して運営します。

入会されますと

会報「航海日誌」（年5回発行、臨時号を含む）をお届けします。

秋に行われる視察見学会への参加資格が得られます。（昼食費自己負担）

リサイクル本バザーの購入券（100円）と呈茶券を差し上げます。

お申込みお問い合わせ

碧南市民図書館本館 電話0566-41-0894

申込用紙は図書館本館カウンターにもありますので、おたずねください。